

質 問 順 位	5	質 問 者	渡 邊 龍 之 議員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
1. 市長の基本姿勢	1. 財政の健全化について	1. 市長として、国、北海道そして地方の景気回復が定まらない現実に対し厳しい財政運営の舵とりを担ってきたところです。交付税措置がままならない中、財政の見通しも一段と不透明さが増している現状と推測するところです。市長は、財政健全化の必要性を打ち出したが、単に経済状況、交付税の減少と片づけてよいものか。市長の言われる取捨選択、優先度の中で市政運営を執行した結果として、このように至った財政運営に対しての見解を伺います。		
		2. 事務事業の見直しについて、何度も事業の見直しを叫んでこられているが、またという感が拭えないところです。その都度検証を行ったはずで、そのことが全く生かされていないと考えるが見解を伺います。また、常に新しい視点で事業展開を図ってきたと認識しています。しかし事業の所管における事業計画が滝川市全体としての共通意識が欠如しているのではないのか伺います。現在、PDCAを取り入れた形で事業展開を進めるようですが、見直しにおける早急な対応策はどこに力点を置くのか併せて伺います。		
		3. 歳入不足に対して、事業の見直しにおいては何かしらの市民負担が生じると考えます。また、待ったなしの状況を市民に求めて行くのであれば受益者負担も出てくるものと考えるが、各種手数料、使用料等の見直しについての考え方を伺います。		
	2. 新年度予算編成について	1. 地方創生関連事業においては国の交付金措置は2分の1とのことですが、残りは一般財源での対応となると考えます。このような各事業展開を図るうえにおいても事業のすみ分けが考えられると思いますが、どのように対処するのか伺います。		

質問順位	5	質問者	渡邊龍之議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
		2. 滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略における施策の展開として、基本目標1～3をあげています。現状の分析、課題を提起されており、おおむね継続事業と見られるが、これら総合戦略に計上される事業はすべて遂行するものと考えてよいのか。これらの設定目標値に達しない場合は事業の見直しは考えているのか伺います。		
	3. 組織運営について	1. 財政健全化計画に組織のスリム化としては機構改革が取り上げられていますが、職員定数、嘱託職員定数、すべての総数の見直しがされていない。そのことを踏まえて人員削減に対する考えを伺います。		
		2. 組織機能が十分に発揮されるべき、管理職が不足しているのではないのかと感じているが、市長として、また任命権者として職員に求める職場管理職像について伺う。 また、組織の活性化を目指すのであれば庁議等に沈滞ムードを一掃するような自由闊達な意見交換を行うべきと考えるが見解を伺います。		
		3. 現在二人の副市長制にしています。市長の公約として民間人採用として鈴木副市長が誕生し、市長の意を受け大いに滝川市を盛り上げたと思っています。任期も残り少なくなり今までの積極的な行動に対し職員がついていくという感じですが、今後の事業展開を含め、滝川市に必要と判断した場合は再度民間からの登用を考えるのか、市長の見解を伺います。		

質 問 順 位	5	質 問 者	渡 邊 龍 之 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
2. 市民生活	1. 交通安全対策について	1. 平成27年における滝川市の交通事故死者数は前年を上回り、6人にもなっていることには大変憂慮に思うところです。高齢者の事故防止に向け取り組んできていることは認識していますが、交通事故防止に取り組むべき滝川市第8次交通安全計画が形骸化していると感じます。通常の業務を含め平成27年の反省と課題について伺います。		
		2. 交通安全活動として最重要視されるのは市民に対する啓発活動が大切だと思っています。そこで市民参加、地域参加、企業参加等につながる啓発活動にどのように支援や教育活動等を実施しているのか伺います。		
		3. 本年6月に道路交通法の一部改正があり、自転車の走行について罰則規定が適用されることになりました。自転車利用者にはどのように（法改正も含めた内容）指導していくのか。単に今までの自転車走行マナーのPRだけでは追いつかないと思うが、これらの対応について伺います。		

質 問 順 位	5	質 問 者	渡 邊 龍 之 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
		4. 市職員による交通事故、違反等の把握はなされているのか。(申告は任意か) また、公用車両による事故も各委員会にて報告されていますが、内容に至っては通り一片の感がぬぐえない。二度と事故を起こさない旨を述べている。事故は自分だけが気をつけていれば回避はできるものではないが、市職員としての自覚を持って、公用車両を運転することが重要です。職員に対する交通安全教育(交通法規、運転技術等)の取り組みについて伺います。		
	2. 市民の声について	1. 市民からの数々行政全体に渡っての意見、要望が寄せられています。(広報掲載もあるが図書館に市民の声綴り)中には建設的な指摘もありますが、同じような内容の意見が多々見られます。なぜ同じような、似たような意見、要望が市民から出てくるのかを検証した経緯はあるのか。その結果はどうなっているのか伺います。		